

# 要保存

## モードセルアンカーボルト

### 取扱説明書

#### □注意事項

- A) 本施工説明書と合わせて「モードセルアンカーボルト標準仕様書」をご使用ください。
- B) この商品を正しく理解し且つ施工して頂く為に、お使いになる前に必ずお読み頂き、説明書に従って十分に理解し、正しく施工してください。
- C) 目的の用途以外で使用しないでください。
- D) モードセルアンカーボルトに対して、不必要な打撃や加工を加えないでください。
- E) 金物は所定の位置に取り付けてください。
- F) 締付け工具類は、適切な物をご使用ください。
- G) 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しない様に注意してください。金物全体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- H) 本取扱説明書は、基礎工事業者様から大工工事業者様へ引き継いでください。

#### □適用範囲と配置基準

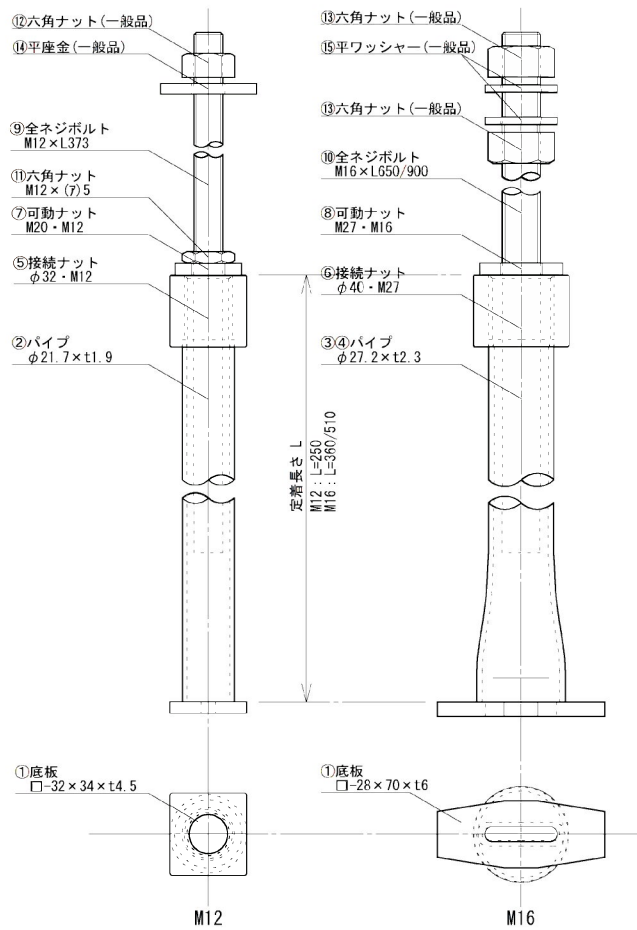
- ・対象建物は、下記3点を満たす建物です。
  - ①建築基準法第6条第4号に該当する建築物(いわゆる四号建築物)
  - ②木造軸組工法で建築される建築物
  - ③ホールダウン専用アンカーボルトにより引張力を負担する建築物
- ・基礎断面、設置基準、引張強度等は、「木造住宅工事仕様書(住宅金融支援機構)」第3.3項に規定の内容に準じてください。

#### □許容耐力

「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版) [(財)日本住宅・木材技術センター編]」に準じ、定着長さ並びに短期許容耐力を下表の通りです。

柱脚部の短期許容引張耐力	アンカーボルトの コンクリート基礎への定着長さ
25kN以下	360mm
25kN~35.5kN以下	510mm

□製品図と商品設定 ※⑫~⑮の部材については、モードセルアンカーボルトに同梱されておりません



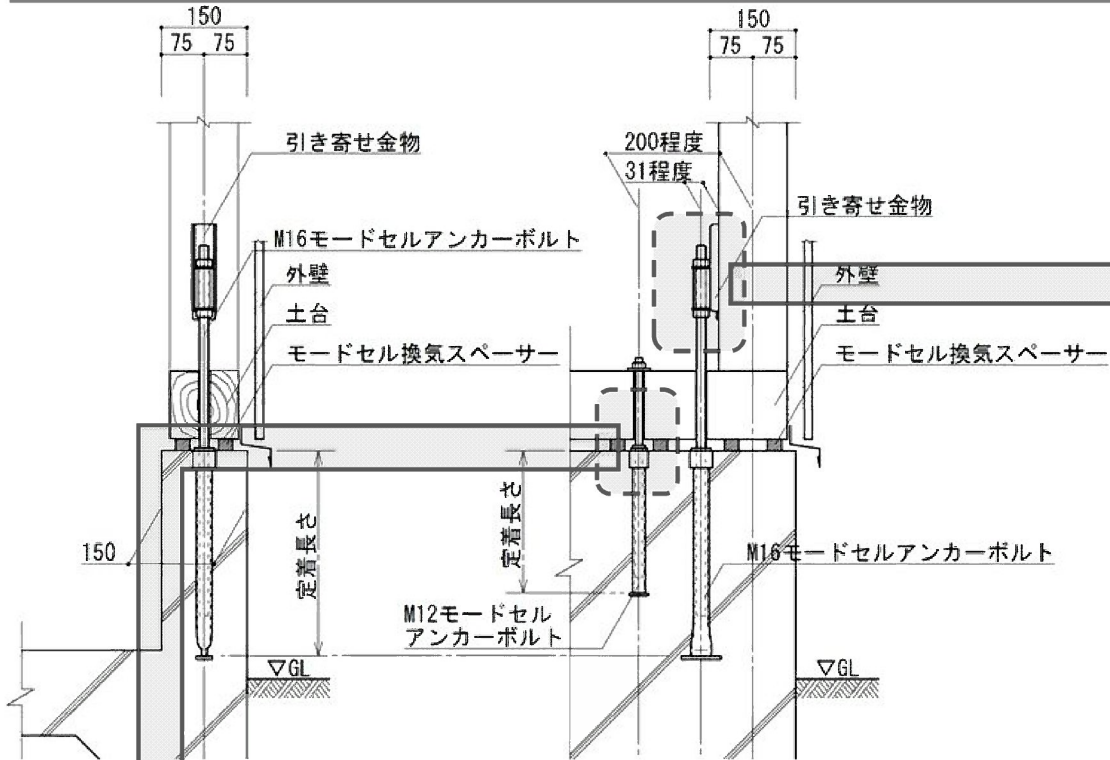
商品名	構成	品番
M12モードセルアンカーボルト	全ネジボルト : L373 可動ナット アンカーパイプ : L250 六角ナットM12×H5	122516
M16モードセルアンカーボルト	全ネジボルト : L650 可動ナット アンカーパイプ : L360	163635
	全ネジボルト : L900 可動ナット アンカーパイプ : L360	163660
	全ネジボルト : L650 可動ナット アンカーパイプ : L510	165135
	全ネジボルト : L900 可動ナット アンカーパイプ : L510	165160

□部材構成・形状・寸法

モードセルアンカーボルトの形状と寸法及び各部材・部分の名称は、下表の通りです。  
なお、⑫~⑮の部材については、モードセルアンカーボルトに同梱されておりませんので、各現場毎にご準備ください。

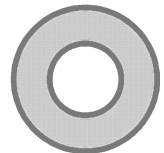
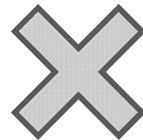
	部品名称	用途	仕様	長さ (mm)	材質	JIS規格	法・告示への適合	強度区分	表面処理仕様	
専用部材	① 底板	M12用 M16用	□-32×34×t4.5 □-28×70×t6		SS400	JIS G 3101	適合		ディスコ処理 12μm 一般財団法人 日本建築センター 建設技術審査証明(建築技術)取得 BCJ審査証明-148 【機日本ラスパート】	
	②	M12用	φ21.7×t1.9	223	STK400	JIS G 3444	適合			
	③ ④	M16用	φ27.2×t2.3	333 483						
	⑤	M12用	外径φ32 メネジM20	30	SS400	JIS G 3101	適合	4.6		
	⑥	M16用	外径φ40 メネジM27							
	⑦	M12用	オネジM20 メネジM12	17.5						
	⑧	M16用	オネジM27 メネジM16	22						
	⑨	M12用	M12	373	SNR400-B	JIS G 3138	適合	4.6		電気亜鉛めっき 10μm JIS H 8610
	⑩	M16用	M16	650 900						
既存部材(例)	⑪		M12×t5		SS400	JIS B 1180 付属書	適合		電気亜鉛めっき 8μm JIS H 8610 3級 (E-p-Fe/Zn8/C/M2) ※一般品の為参考仕様とする	
	⑫	M12用	M12 (1種) (一般品)							
	⑬	M16用	M16 (1種) (一般品)							
	⑭	M12用	40×40×t4.5 (一般品)							
	⑮	M16用	17.0×32×t2.6 (一般品)							

□納まり参考図

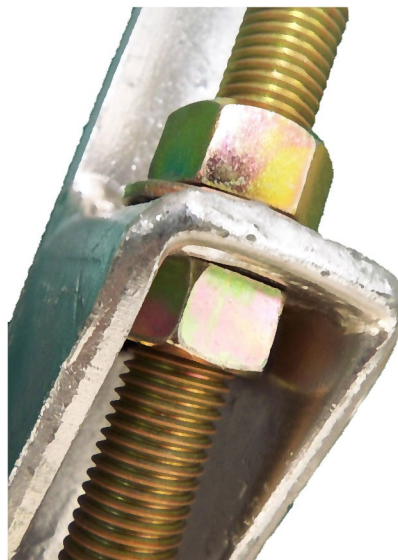


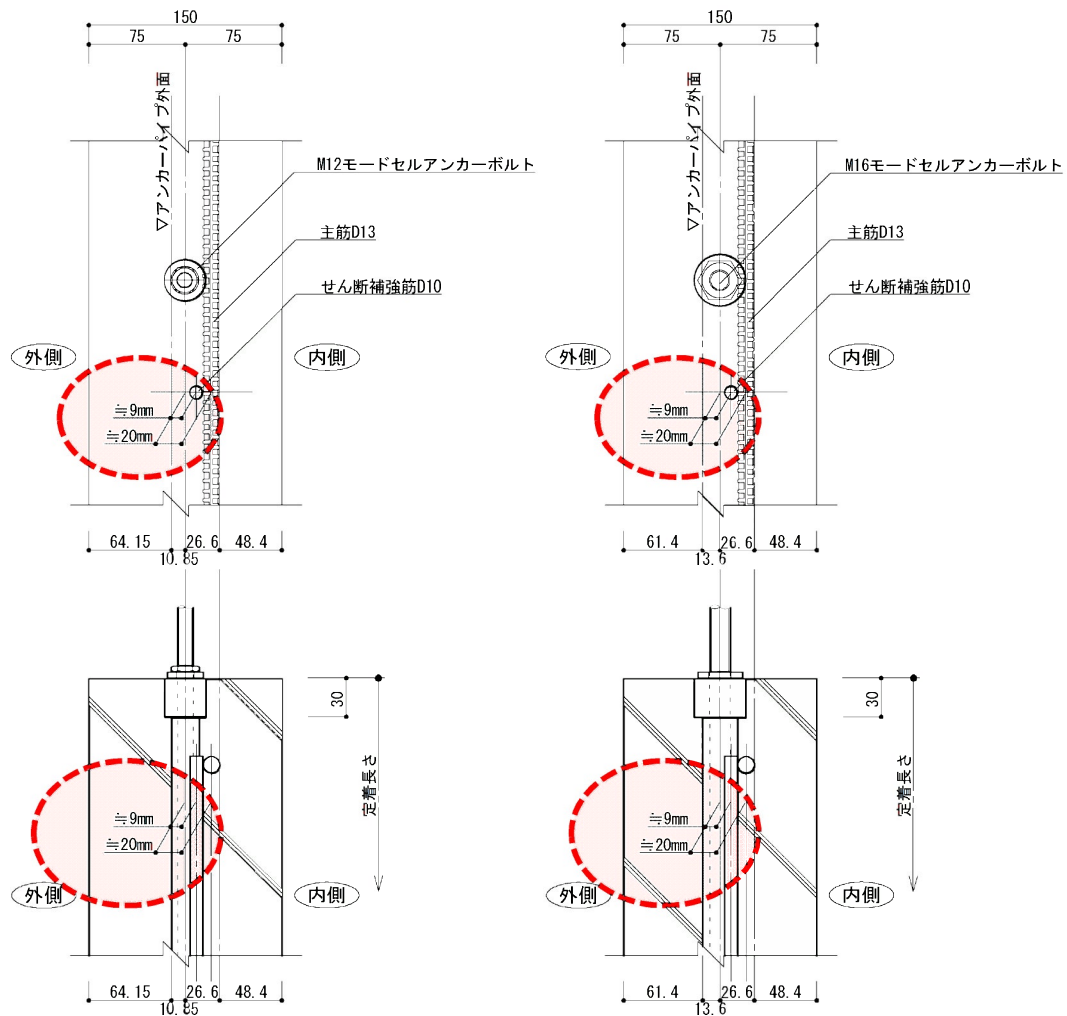
※ M12モードセルアンカーボルトについては、可動ナットと共回り防止用ナットを締め付けることで、全ネジボルトの共回りを防止しています。

※ M16モードセルアンカーボルトについては、引き寄せ金物を挟むようにナットで締め付けることでダブルナットとし、このダブルナットにより全ネジボルトの共回りを防止しています。  
 ※ Zマーク引き寄せ金物: S-HD型を使用する場合のみ、その形状から下側に取り付けるナットを長ナットとしてください。



共回り防止用六角ナット  
 可動ナット  
 接続ナット





芯ずらしの方向について...

- ①外周部の基礎については、アンカーボルト内側に主筋を抱き合わせる
- ②間仕切基礎については、内外の位置は現場状況に応じて適宜対応可

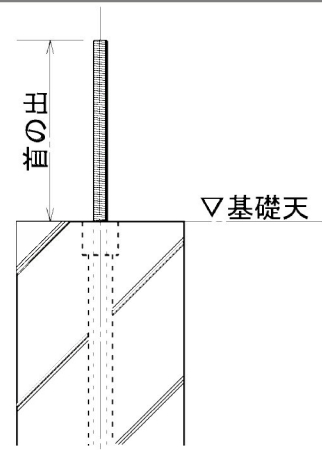
芯ずらしの寸法について...

基礎芯=アンカーボルト芯から、縦筋芯≒9mm、主筋芯≒20mmとする

## □首の出寸法

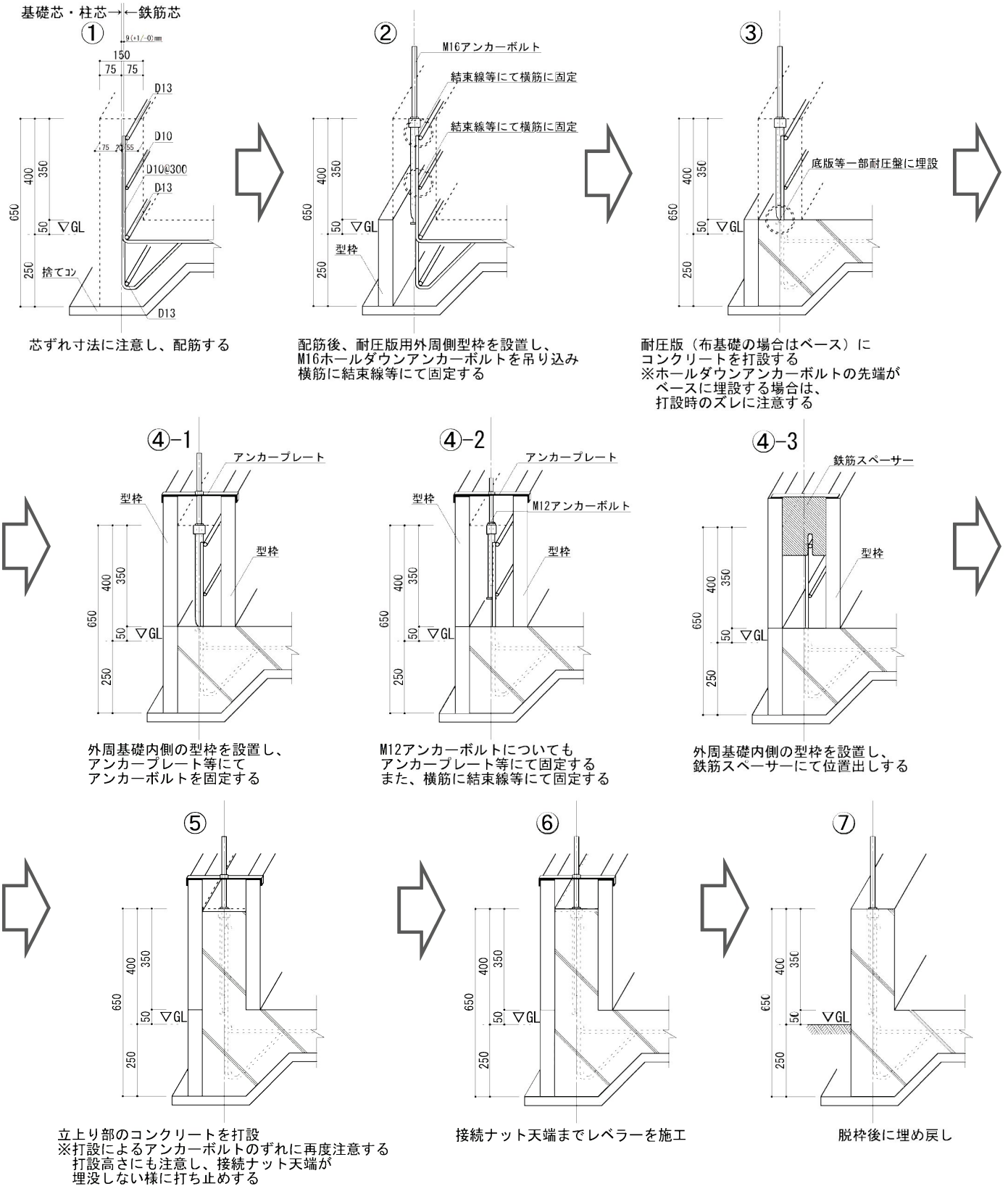
1. 各部納まりの相違に応じて適宜変更可能ですが、首の出寸法を大きくする(全ネジボルトのパイプ内残存寸法が小さくなる)場合は、将来的な土台揚げ修復工事の際の最大ジャッキアップ量が小さくなりますので、十分確認の上修復工事にあたってください。
2. M16全ネジボルトについては、2種類の長さを設定しておりますので、引き寄せ金物の取付高さ等に応じて使い分けてください。
3. その他、納まりに応じて変更適宜対応してください。

土台寸法 (mm)	モードセルアンカーボルトの首の出長さ(mm)		
	M12	M16	
		全ネジボルト:L650	全ネジボルト:L900
105	146~149	350±15	600±15
120	161~164		



## □施工手順

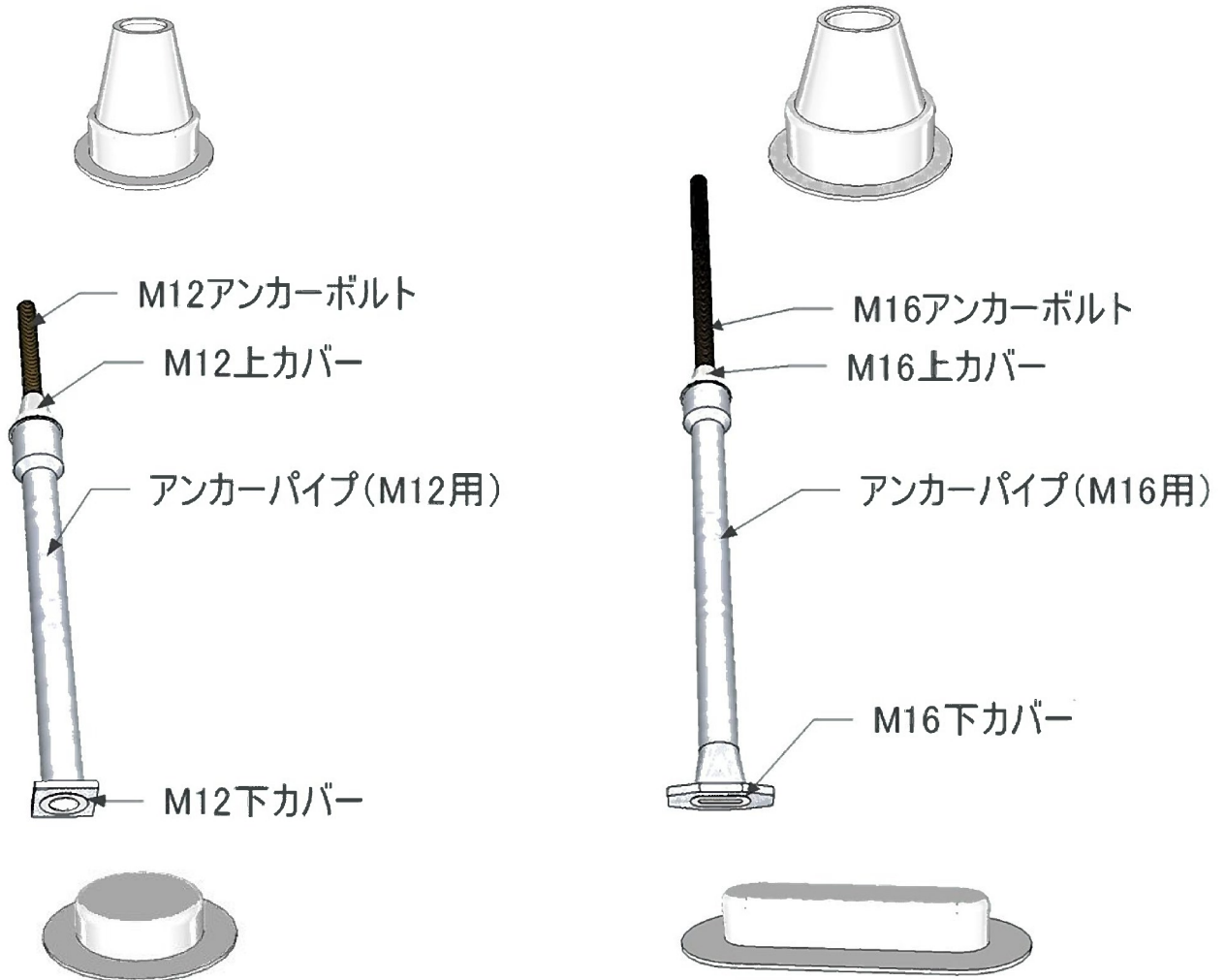
1. 本工法を採用する場合、アンカーボルトの通り芯は基礎立上りの通り芯と合わせてください。
2. M16アンカーボルトについては、専用の鉄筋スペーサーを使用する等し、底板の被り厚さに注意してください。
3. 以下の示す施工の流れは一例であり、適宜現場状況・納まり等に応じて対応してください。





## □カバー(保護材)の取付

1. 本アンカーボルトの施工にあたり、全ネジボルト、可動ナット及び接続ナット天端へのコンクリート並びにレベラーの付着防止のため、出荷時取り付けられている専用カバー(保護材)を外さないでください。
2. 専用保護材は再利用不可です。一回使い切りとしてください。



株式会社 WASC基礎地盤研究所

大阪府茨木市上中条2-5-37 すばるビル202

TEL : 072(625)3630 FAX : 072(625)3631

E-mail : info@wasc-lab.jp

URL : <http://www.wasc-lab.jp/>

本仕様書に示す使用取扱い条件を逸脱した場合は、  
本製品に関する性能・品質及び構造の安全性についての  
保証は出来ません。

各販売・検査代理店